

『追体験 霧晴れる時 — 今および未来を生きる 精神障がいのある人の家族15のモノガタリ』

青木 聖久 / 著 ベンコム / 発行

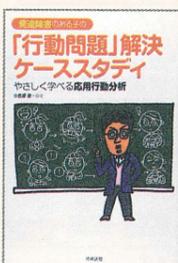
精神障がいのある方の15のご家族のお話です。ある日突然家族が精神障がいを発症し、不安やとまどいを抱えたご家族が、どう乗り越えたのかがわかります。それぞれのご家族のお話は、普段の私たちの生活では気づかれないことばかりで、こんな考え方や生き方があるのだと人生観が広がりました。他のご家族の人生を自分が体験したかのように感じ、思いをめぐらせられる一冊となっております。



『発達障害のある子の「行動問題」解決ケーススタディ — やさしく学べる応用行動分析』

小笠原 恵 / 編著 中央法規出版 / 発行

なぜ、あの子はこんな行動をするのでしょうか? 発達障害のお子さんに関わる中で、困った行動や、理解したい行動を目にする機会はありますか? その行動を分析し、理由を見つけ、対応を考えるヒントとなるのが、この本です。事例に基づき、応用行動分析の観点で、分かりやすく解説してあります。発達障害のお子さんと接する方は、ぜひ一度ご覧ください!



『支援介助法~障害のある人への痛みを与えない パニック対応スキル~』

アローウィン / 製作・著作

「支援介助法」とは、発達障害や知的障害の人がパニックを起こした時の、誘導方法として紹介されたものです。自分も相手も傷つかないことを基本として身体に負担をかけない力の使い方や、相手の力を利用すること、意識しない身体的能力を活かす方法などが実践映像で紹介されたものです。特別支援学校などでパニックになった子どもや、落ち着かない子ども、高齢者の介護、リハビリテーションにも活用でき、問題行動の対応を実践映像で観られる、とても分かりやすいDVDです。



『マンガで読む手話通訳事例集』

手話通訳活動あり方検討委員会 / 編著 一般社団法人全国手話通訳問題研究会 / 発行

「手話通訳って、手話ができればいいんじゃないの?」そう思っている方は、多いのではないのでしょうか。服装や、現場への遅刻など、周囲の環境や困った状況で、手話通訳者としてどのように対応する必要があるのかを、この事例集を通して考えることができます。1事例5ページ程度で読みやすく、4コマ形式のイラストと丁寧な背景説明で、シチュエーションがイメージしやすい構成です。登場人物の心情の中には、思わず共感してしまうものが、きっとあると思います。



『8050問題を考える 笑いとしみと共々生きてい』

山田 孝明 / 編著 イシス出版 / 発行

長年引きこもりを支援されてきた支援者による経験談。引きこもりは長期化、高齢化、複雑化していると耳にしますが、当事者、当事者家族、支援者のまっすぐな気持ちが書かれており、現代社会の生きづらさを感じました。それでもそれぞれが勇気を持って社会に関わることで、引きこもりを脱することができるということもわかります。「死ぬか殺すか以外の選択肢」重い課題ですが、諦めずに前を向いて生きていこうと思える一冊です。



『気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ⑤ お互いの本音が伝わる時—障害者—』

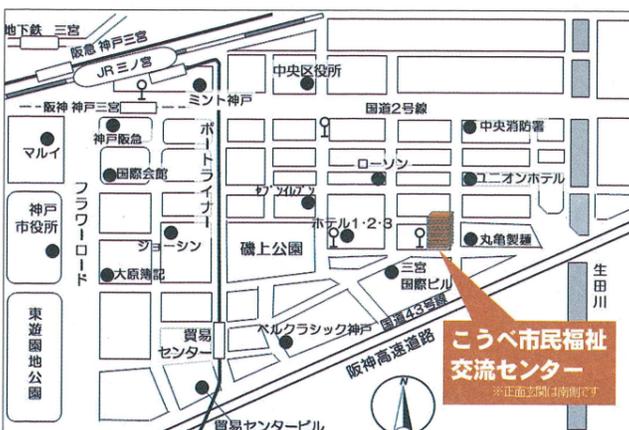
越坂 康史 / 監督・編集 東映 教育映像部 / 企画・制作

このDVDでは企業で働く同僚が障がいを持っている、その場合どんなことに困るのか、また、仲間としてどのように手助けすればよいのかを考えるような内容となっています。やみくもに手助けすることは意図せずに相手を傷つけてしまうことになりかねません。互いの意思を尊重したうえで気持ちよく働ける職場環境を築くことは社会生活を送る点でも大いに役立つのではないのでしょうか。ぜひ一度ご覧いただきたい作品です。



司書のつぶやき

ハードカバーの本や、文庫などに紐のようなものがついていることはありませんか? この紐を本の間に挟むことで一度開いた本を読みなおすときすぐにお目当てのページを開くことができますよね。もちろん、短冊状の紙でできたしおりやお気に入りのブックマーカー、メモ用紙など「しおり」などでもそれは可能です。ところでこの紐のようなもの、どんな名前かご存じですか? 名称は「菜紐」、日本では「スピン」とも呼ばれています。短冊状のしおりと比較した場合、背表紙などに直接糊付けされた紐は本から落ちたり、無くす心配がありません。日本では明治以降に洋装本が量産されたことで一気に広まったようです。多くは本の対角線より5cmほど長い仕様となっています。赤や緑、青など、色の種類も多様なのでしおり紐を見比べながら本を選ぶのも面白いかもしれません。



社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学 福祉ライブラリー 〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32 こうべ市民福祉交流センター2階 TEL: 078-271-5307 FAX: 078-271-5365 URL: http://www.shiminfukushidaigaku.jp 開室日: 月曜日~金曜日 開室時間: 午前10時~午後6時 国民の祝日、年末年始(令和元年12/28~令和2年1/5)図書整理日は除く

福祉ライブラリーニュース

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通3丁目1-32 こうべ市民福祉交流センター2階

今回の内容

- ① 年末年始にともなう閉室のお知らせ
② 自身の自信が学べる講座! ~市民福祉セミナー&マインドアッププログラム開催のお知らせ~
③ つながる未来が世界を変えた!! 私たちが選ぶ、講座ふりかえり
④ 展示企画 第17弾 『あ、これ、コレ!』
⑤ 新着案内



年末年始にともなう閉室のお知らせ

令和元年12月28日(土)~令和2年1月5日(日)まで、年末年始閉室します。

*交流センターは、1月5日(日)より開館します。

自身の自信が学べる講座!

~市民福祉セミナー&マインドアッププログラム開催のお知らせ~

市民福祉セミナー

『虐待の淵を生き抜いて ~子どもたちの笑顔を守るために私たちにできること~』

開催日: 令和2年1月23日(木)
時間: 14:00~16:00
対象者: テーマに関心のある方 (神戸市在住の方を優先させていただきます。)
講師: 一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO 理事長 島田 妙子 氏
開催場所: こうべ市民福祉交流センター
定員: 50名 (応募多数の場合、抽選)
受講料: 無料
申込締切: 令和2年1月9日(木)



『ヒューマンサービスコース マインドアッププログラム』

開催日: 令和2年1月24日(金)
時間: 10:00~16:00
講師: 川島 憲志 氏(フリーランス) / ゲスト講師: わくわく☆ふえすた実行委員2名
開催場所: こうべ市民福祉交流センター
定員: 30名 (応募多数の場合、抽選) *申込者が10名未満の場合、やむを得ず講座を中止する場合がございます。
受講料: 1,000円
申込締切: 令和2年1月10日(金)



お申し込み方法: 電話または、はがき・FAX・HPIにて

- ①講座名 ②住所(〒) ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話・FAX番号をご記入のうえ、市民福祉大学まで。
電話: 078-271-5300 FAX: 078-271-5365
住所: 〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通3丁目1-32 こうべ市民福祉交流センター



つながる未来が世界を変えた!! 私たちが選ぶ、講座ふりかえり

市民福祉大学では、福祉に関する理解と参加を推進するとともに、社会福祉事業従事者から市民ボランティアまで多様なニーズに対応した講座や研修を実施しています。今回は開催講座の中から4つを選び、開催日程や内容、そして講師や参加者からの感想やご意見などをご紹介させていただきます。開催案内だけではわからないあれやこれ、どうぞご覧ください。

HSCスキルアッププログラム① 協働の作法を学ぼう!

講師:川島 憲志 氏 (フリーランス)
開催場所:こうべ市民福祉交流センター 302教室
受講料:1,000円
講座内容:様々な個人や団体・組織がチームとなって事に取り組む協働の場で、なくてはならないファシリテーションを、体験をベースとした講義を通して、学びました。



受講者の声
●受講後、元気をもらえました。人間関係がいかにか大事かも、ワークを通して実感することができました。
●協働する際、まず意見を出し合うことが大事だと思っていたが、その前に話し合いと段取りを組んでおくことが大事だと分かった。

担当者の声
本当に初対面?とってしまうような和気あいあいとした雰囲気の中で、講座は進められました。地域に関わる皆さんは、それぞれ思いを持っていらっしや、その思いを発信なさって、熱くてステキだな!と尊敬の眼差しで、拝見していました。

HSCスキルアッププログラム② 上手な会議の作法を身につけよう!

講師:岩木 啓子 氏 (ライフデザインFLAP 主宰)
開催場所:こうべ市民福祉交流センター 302教室
受講料:1,000円
講座内容: 9:30 オリエンテーション
10:00 セッション1: 演習『会議を会議する日々の会議の問題点は?』
12:00 昼食休憩
13:00 セッション2: グループワーク『会議参加のルールをつくる』
14:40 セッション3: おはなし『会議の場のメカニズムと効果的な運営』
16:00 セッション4: 全体ワーク『会議ファシリテーションの疑問を解決しよう!』
16:40 ふりかえり・わかちあい



受講者の声
●日々の会議での悩みがほとんど共通できる方が多く嬉しかったです。
●会議への参加及び進行の際の考え方を改めて知ることができた機会でした。
●参加型の研修だったので、自分自身も参加者として主体的に参加できた。今までは問題が出ないことが問題だと思っていたが、テーマの投げかけからよって問題もしっかり出てくるということが分かった。

担当者の声
「会議は「ナマモノ」です。」という先生のお言葉通り、事前に準備してきた意見よりも会議中にひらめいた意見の方がより素晴らしいものだったりします。会議の参加者から、いかに意見を引き出せるのか、基本的なことから様々な会議進行のテクニックを学べます。

点訳ボランティア入門講座

講師:久部 幸次郎 氏 (関西学院大学文学部非常勤講師)
助手:久部 悦子 氏
開催場所:こうべ市民福祉交流センター 302教室
受講料:10,000円 (20回分)
講座内容:点訳講座には「点訳ボランティアの方々のゲストトーク」「アイマスク体験」「パネルディスカッション」など盛りだくさんの内容で、点訳技術だけでなく視覚障がい者の日常生活、ボランティアの実践について学べる講座でした。

講師の声
点訳ボランティア入門講座では、普通文字(墨字)で書かれたものを点字に訳す「点訳」という作業がどのようなものなのかを学び、講座の修了後は、点訳ボランティアとして活躍していただけるようになっていただきます。



また、講師自身が全盲であるため、点字を実際に使っている視覚障がい者の日常生活はどのようなものなのかや、現在、視覚障がい者がどのような問題を抱えているのかなどを、楽しく解説しながら進めています。皆様に興味を持っていただけるよう、助手である私の妻とともに、楽しく、おもしろくをモットーに講座を開いております。一度、ご参加ください。

受講者の声
●まさか自分が点字を打ったり、読んだり出来るようになるとは思っていませんでしたが、自信ができました。
●学んだ点字を、これから活かしていきたいです。
●先生のお話が面白くて、とても楽しい講座でした。

手話ボランティア養成講座 (基礎編) 朝・昼・夜コース

講師:神戸ろうあ協会手話派遣センターより、ろう講師・聞こえる講師 各1名
開催場所:こうべ市民福祉交流センター302教室
受講料:10,000円 (20回分)
講座内容:手話入門講座を修了し、さらなる手話技術の習得、聴覚障がい者への理解等、手話奉仕員として必要な知識・技術を学びます。聴覚障がい者への支援をされる方を養成する講座です。

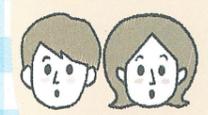


講師の声
手話だけでなく、ろう者の生活の不便などを学習し、より理解をして頑張っていきたいという受講生の気持ちが伝わり、嬉しく思いました。手話は目で見る言葉ですので表情が大切です。また、ろう者の生活などを学習して、理解を深めてほしいと思います。一緒に楽しく「手話の世界」への学習をしましょう。

受講者の声
●わからないことも先生方や周りの人に教えていただいて学習でき、とても楽しかったです。
●学んだことを忘れず、これから学習を続けていきたいです。

展示企画第17弾

『あ、これ、コレ!』



福祉ライブラリーでは多くの方にご利用いただきたいという思いから資料の提供をしています。今回はその中でも特に皆さまの関心が高く、貸出が多かった「図書・雑誌・DVD」のタイトルをご紹介します。あなたが既に貸出されたもの、まだ存在を知らなかったもの、ぜひお確かめください。またオススメ分野として「手話に関する本」もいかがでしょうか。

図書

第1位 『福祉職・介護職のためのマインドフルネス1日5分の瞑想から始めるストレス軽減』
池埜 聡 / 著 中央法規出版 / 発行

第2位 『対人援助の現場で使える聴く・伝える・共感する技術便利帖』
大谷 佳子 / 著 翔泳社 / 発行

第3位 『ヘルプマン! vol.13 介護職員待遇編』
くさか 里樹 / 著 講談社 / 発行

雑誌

第1位 『コミュニティソーシャルワーク 第22号』
特集:社会福祉法人の地域公益活動とコミュニティソーシャルワーク実践
特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 / 発行

第2位 『おはよう21 2019年4月号増刊』
特集:自立支援・重度化防止のための介護技術
中央法規出版 / 発行

第3位 『コトノネ vol.29』
特集:福祉融業で、地域は生まれ変わる
コトノネ生活 / 編集・発行

DVD

第1位 『高齢者虐待防止介護従事者研修用映像 ~よりよい介護を目指して~』
神戸市 / 製作・著作

第2位 『実践!スーパービジョン』
1.より質の高い援助実践を
2.職員の気づきをサポートする
3.スーパービジョン体制を活かす
中央法規出版 / 製作・著作

第3位 『発達障害の理解と支援 ~わかり合おうって、素敵だね!~』
アローウィン / 製作・著作

オススメ分野 手話に関する本

第1位 『わたしたちの手話 学習辞典』
全日本ろうあ連盟出版局 / 編集

第2位 『はじめてのボランティア手話』
手の動きがすぐにマネできる「ミラー撮影」採用ゼロからわかる手話入門
谷 千春 / 監修 主婦の友社 / 発行

第3位 『ハンドトーク ジラファン』
門 秀彦 / 著 小学館 / 発行